

大田原市議会議長

新年あいさつ



副議長 小池 清一



議長 小林 正勝

昨年大田原市におきましては、一昨年に引き続き合併後の新市の礎を築く年として、各種事業への取り組みを積極的に行いました。新市建設計画に基づく主要事業として整備がはかられてきた与一伝承館多目的ホールと竹のギヤラリーが四月にオープン。また、十月には道の駅那須与一の郷全館の完成や美原公園陸上競技場の改修工事が完了となり、十一月二十三日に行われました第二十回大田原マラソン大会及び第二回車イスマラソン大会が盛大に開催されるなど明

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、二〇〇八年の希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より市政発展のため多大なるご支援とご協力をいただき、心から厚く御礼を申し上げます。ご承知のように昨年十一月十八日に、任期満了に伴う市議会議員選挙が行われ、第十五期議員として市民の負託に答えるべく二十九名の議員が誕生いたしました。我々議員は市民の声の代弁者として初心忘れる事なく、自己研鑽に努め、「住む人が輝き 来る人がやすらぐ 幸せ度の高いまち」の実現のために最善を尽す決意でございます。

このころであります。我々議員は、これからもより一層、開かれた議会を目指し、一丸となって、市民の皆様とともに「幸せ度の高いまち」の実現へ向け、最善を尽す覚悟でございます。市民の皆様には、尚一層ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年間の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして年頭のご挨拶いたします。

るい話題も数多くございました。しかし、地方においては、地方交付税の減や国庫補助金の減など厳しい財政状況が続き、国においては、年金問題に端を發した政治的混乱など我々を取り巻く環境は依然として厳しいものに違いありません。市議会といたしましては、昨年九月定例会において、地域医療等調査特別委員会、広域行政等調査特別委員会、中山間地域振興調査特別委員会が調査結果を報告し、市執行部に対し、地域医療の整備、広域行政の在り方、中山間地域の振興策に対して提言等を示したところであります。また、昨年の三月定例会においては、政務調査費の削減、六月定例会においては、議員みずから報酬の削減を図るなど、厳しい財政状況に対応してきたところでもあります。我々議員は、